

2025年3月期
第3四半期

決算補足 説明資料

2月7日



証券コード：8715

全体目次

1

第3四半期 決算概要

2

重点施策の進捗状況

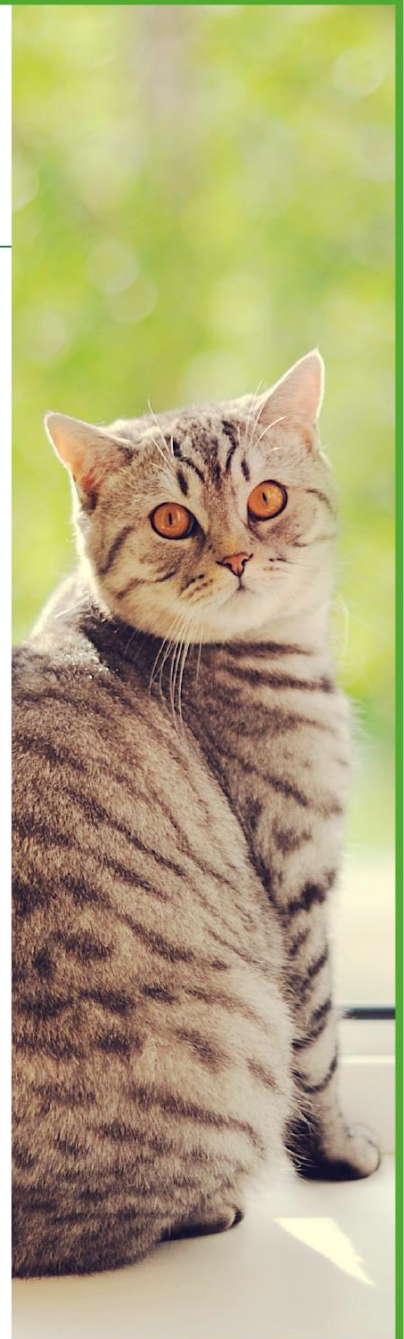
3

APPENDIX

1

第3四半期 決算概要

1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)
2. 損益計算書 サマリー
3. 経常費用・利益のパラメータ
4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分析)
5. 貸借対照表 サマリー





1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

経常収益

49,706 百万円

前年同期比10.6%増(4,770百万円増)
うち、保険引受収益は前年同期比8.0%増(3,235百万円増)

のれん償却前 経常利益

3,979 百万円

前年同期比16.1%増(552百万円増)

経常利益

3,793 百万円

前年同期比15.8%増(517百万円増)

ペット飼育需要や競争環境の変化を新規契約獲得に着実に繋げ、業務効率化の推進等により増収増益

■ 経常収益

- ペット保険の新規契約件数は17.8万件、同保有契約件数は126.0万件(7.4%増)と伸長が加速
- 保険事業以外の、その他経常収益は5,394百万円(31.7%増)と順調に拡大
- 資産運用収益は806百万円(41.6%増)となり、不透明な市場環境下で機動的な資産運用を図り、計画達成ペースで進捗

■ 経常利益

- 他社契約移管コストが発生するも、増収効果と業務運営の効率化により、増益、対計画も達成ペースの進捗

2. 損益計算書 サマリー



(百万円)

	24年3月期 3Q	25年3月期 3Q	対前年同期比 増減率
経常収益	44,936	49,706	10.6 %
保険引受収益	40,270	43,505	8.0 %
資産運用収益	569	806	41.6 %
その他経常収益	4,096	5,394	31.7 %
経常費用	41,660	45,913	10.2 %
保険引受費用	28,381	30,892	8.8 %
・正味支払保険金	(22,843)	(25,117)	10.0 %
・損害調査費	(841)	(848)	0.9 %
・諸手数料及び集金費	(3,825)	(3,874)	1.3 %
・支払備金繰入額	(291)	(240)	△ 17.6 %
・責任準備金繰入額	(578)	(811)	40.2 %
(うち未経過保険料)	(914)	(1,155)	26.4 %
(うち異常危険準備金)	(△ 336)	(△ 344)	- %
資産運用費用	2	—	- %
営業費及び一般管理費	11,823	13,003	10.0 %
その他経常費用	1,454	2,017	38.7 %
のれん償却前経常利益	3,427	3,979	16.1 %
経常利益	3,276	3,793	15.8 %
純利益	2,041	2,574	26.1 %



2. 損益計算書 サマリー

(参考)アニコム損保 保険重要指標

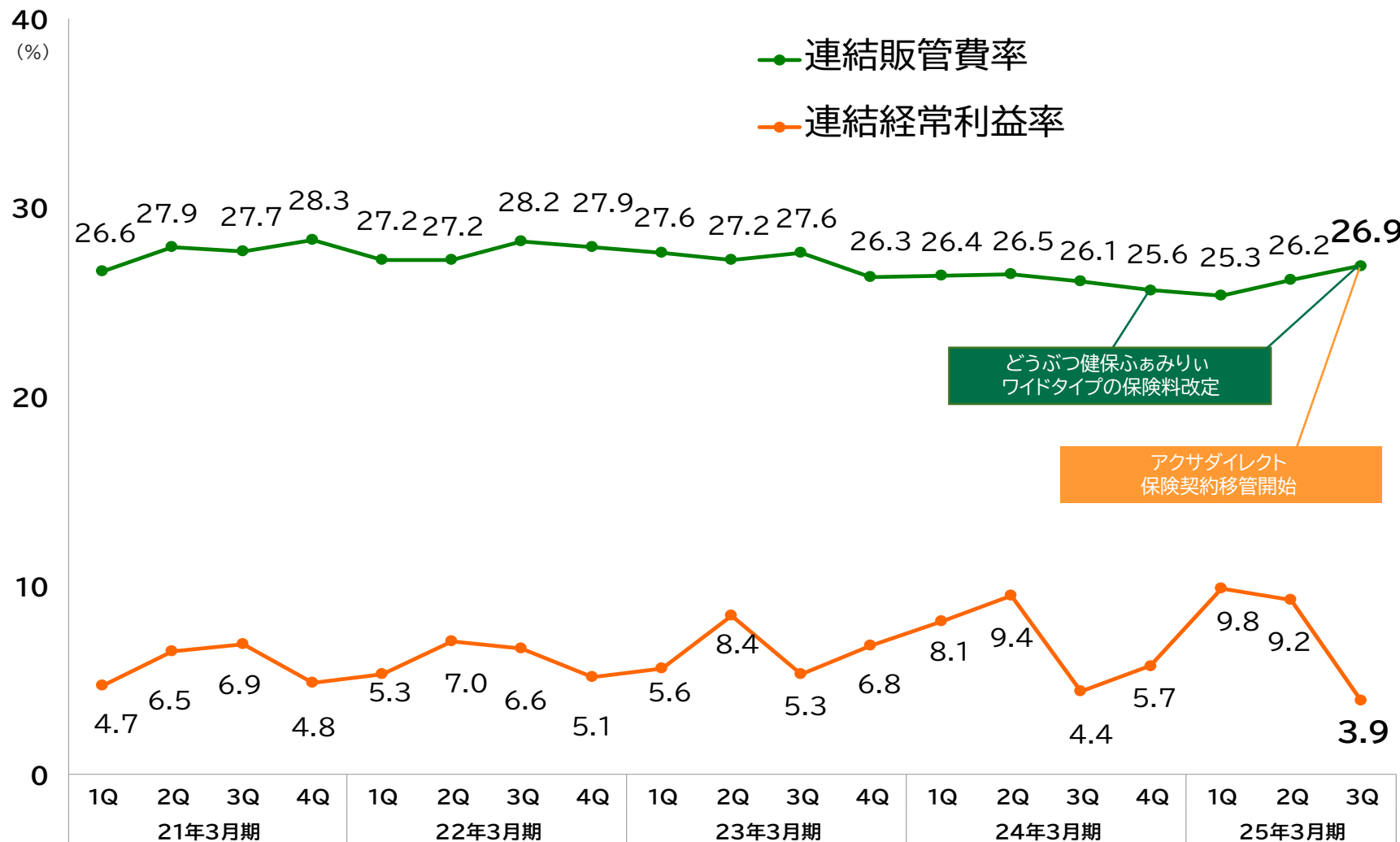
	24年3月期 3Q	25年3月期 3Q	(百万円) 対前年同期比 増減率
既経過保険料	39,516	42,551	7.7%
発生保険金(損害調査費含む)	23,977	26,207	9.3%
E/I損害率①	60.7%	61.6%	0.9pt
既経過保険料ベース事業費率②	33.4%	31.9%	△1.5pt
(内、諸手数料及び集金費率)	(10.0%)	(9.5%)	(△0.5pt)
コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)①+②	94.1%	93.5%	△0.6pt

3. 経常費用・利益のパラメータ

※販管費率、経常利益率(連結)



※ アニコム損保単体の経営パラメータ(損害率・事業費率・契約件数)はAPPENDIX参照



4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分分析)

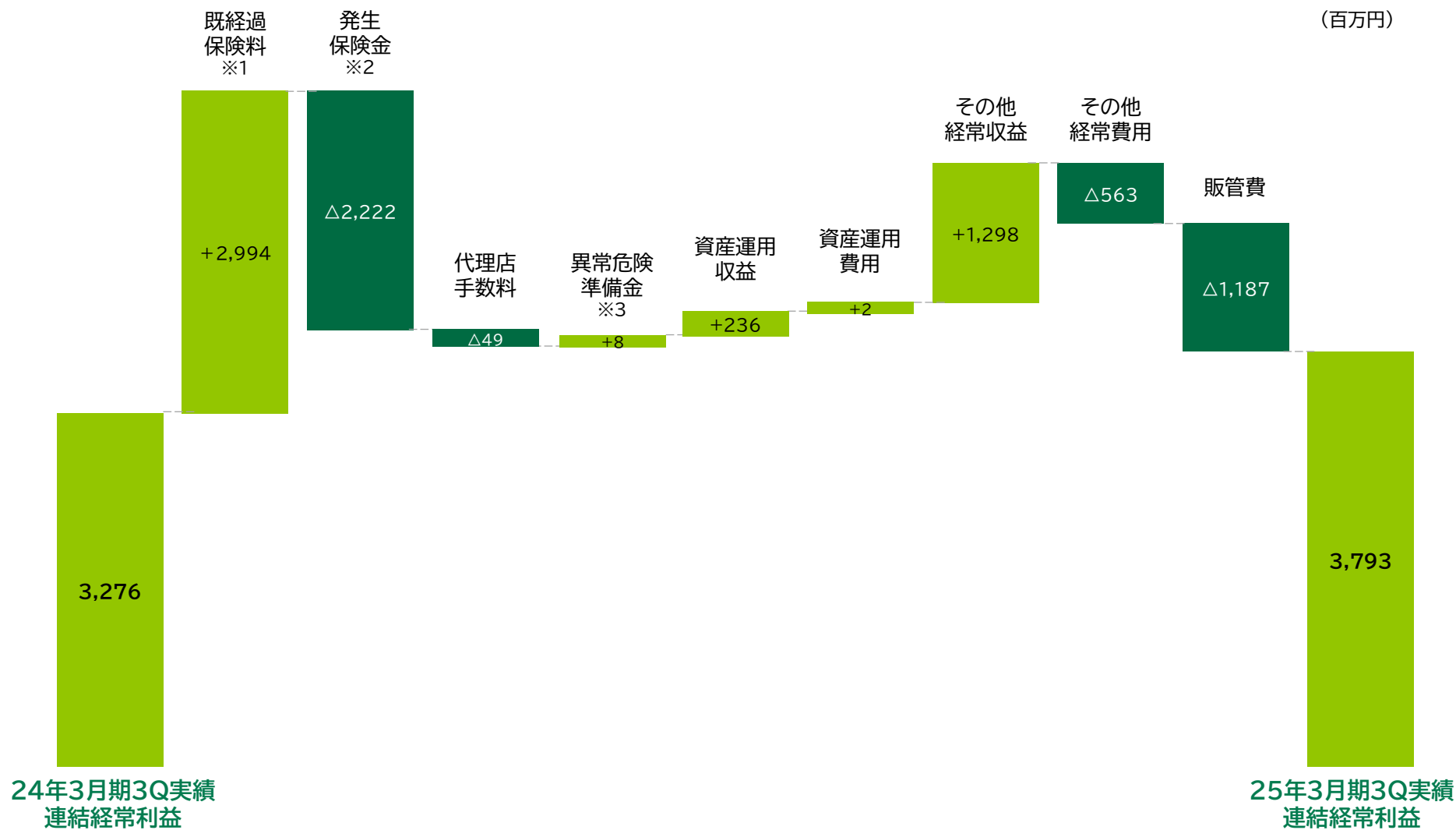


※1 既経過保険料＝保険引受収益－普通責任準備金繰入額(未経過保険料)

※2 発生保険金＝正味支払保険金＋支払備金繰入額

※3 異常危険準備金＝異常危険準備金繰入額＋異常危険準備金戻入額

(百万円)





5. 貸借対照表 サマリー

	24年3月期末	25年3月期 3Q	対前年末比 増減率
資産合計	66,357	70,022	5.5 %
現金及び預貯金	23,879	25,059	4.9 %
有価証券	27,510	28,374	3.1 %
固定資産	6,925	7,067	2.0 %
その他資産	8,041	9,522	18.4 %
負債合計	36,204	41,867	15.6 %
保険契約準備金	24,551	25,602	4.3 %
うち支払備金	3,245	3,486	7.4 %
うち責任準備金	21,305	22,116	3.8 %
社債	5,000	10,000	100.0 %
その他負債	6,653	6,265	△ 5.8 %
純資産合計	30,152	28,154	△ 6.6 %
株主資本	31,144	30,056	△ 3.5 %
評価・換算差額等	△ 1,248	△ 1,905	— %
その他	256	3	△ 98.5 %
負債・純資産合計	66,357	70,022	5.5 %

2 重点施策の進捗状況

1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）
2. 重点施策の進捗状況（シナジー創出事業）
3. トピックス





1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）

保険事業

新規・保有契約の状況

- 新規契約獲得件数は4-12月で17.8万件超、四半期単位では6.1万件で過去最高を更新
24年12月末の保有契約件数は126万件を突破

アクサダイレクトからの移管影響

- 24年12月よりアクサダイレクトから移管開始

【短期的影響】

決算期	移管契約数	移管手数料
25年3月期 3Q	約0.3万件(実績)	約1.5億円(実績)
25年3月期 4Q	0.8～1.0万件(見込)	4～5億円(見込)
26年3月期	2.5～3.0万件(見込)	12～15億円(見込)

【中長期的影響】

今後約10年間で見込める 正味収入保険料の累計額	約150億円
-----------------------------	--------

- 移管が新規契約獲得件数の伸長に寄与し、来年度にかけて一定程度シェアを底上げ
- 25年3月期の影響は資産運用や業務効率化でカバー
26年3月期以降の影響は次期中期経営計画に反映

商品・サービスの拡大

- 「どうぶつ健活」の堅調な増加が寄与し、4-12月の継続率は88.1%と安定して高いレベルで推移

資産運用

- 柔軟かつ機動的な資産運用により、計画を達成
インカム収益を着実に積上げながら、計画達成のペースで進捗

その他

- 「従業員一人一特許戦略」の推進
24年12月末 発明者数133名（20年12月末 発明者数13名）

【分野別 特許件数】 ※24年12月末時点

	画像認識AI	遺伝子 フード・腸内細菌叢	再生医療	その他	合計
特許件数	7	8	3	3	21

【取得した特許の例】

特許7602893号

「イヌ白内障の検査・診断に有用な疾患感受性遺伝子の検査方法」

イヌ白内障の検査方法、試薬、検査キットを提供



2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業)

産まれる前から

川上



日々の暮らし

川中



治らないを治す

川下



ブリーディングサポートの強化

- 動物愛護法の改正も踏まえ、各施策を強力に推進中

マッチングサービス事業の強化

- 需要の好調が継続し、『みんなのブリーダー』『みんなの子猫ブリーダー』の成約数が順調に伸長



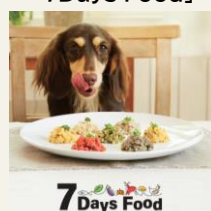
マッチングサービス事業(シムネット)24年度3Q業績

- 売上高 : 2,075百万円(前年度 1,695百万円)
 - 経常利益 : 241百万円(前年度 91百万円)
- 注)経常利益はのれん償却後

健診+口腔・腸内ケア商材の事業化

- 4-12月の「どうぶつ健活」申込累計 17.7万件超
- 「どうぶつ健活」を通じた口腔・腸内ケア商材のバリエーション強化

腸内フローラの多様性を高める「7Days Food」



MA-T®を用いた歯みがきジェル「CRYSTAL JOY」



口腔・腸内ケアができるおやつ「CARE PUREE」



■グループ病院での試食会実施・ペットイベントへの販売/お試し



動物医療関連(予防～一般・再生医療)

➢ 再生医療事業

- 再生医療を用いた「治療法」「予防法」の確立
- QOLの改善へ向けた研究

■幹細胞投与を実施した犬の一例(15歳 柴犬)

【投与前】
ぎこちなく、ゆっくりと歩行



【投与後】
全ての足を使い自然に歩行



➢ 動物病院事業 24年度12月末 57病院



3. トピックス① 先端技術による新たな価値の創造



手術支援ロボットのリバーフィールド社と共同研究開発契約を締結

アニコム損保・アニコム先進医療研究所は、手術支援ロボットを手掛けるリバーフィールド社と、医療ロボットの設計および製造、またこれらの過程で生じるAIを用いた知的財産の創出等を目的とした共同研究開発契約を、2025年2月6日付で締結した。

▶2月7日付ニュースリリース <https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2024/20250207/>



▲アニコムグループにて導入予定の手術支援ロボット「TSURU」(仮称、2025年1月に商標出願中)のイメージ。日本では古くから愛される鳥である鶴は、海外でも長寿や健康の象徴。わが子に健康で長生きしてほしいという全ての飼い主様の思いを寄せ、日本の獣医療が世界に向けて鶴のように羽ばたいていくことを祈念して、この名称を予定している。

■「日本が誇る力覚フィードバック技術」について

日本の医療技術は、その手術手技の精度や術者の経験において高い水準にあり、多くの国際的な評価を受けている。特に、日本のペットは小型の個体が多いため、日本の獣医療では世界でも類を見ない繊細かつ高度な技術が研ぎ澄まされてきた。この繊細かつ高度な技術を最大限に活かせる「力覚フィードバック技術」のさらなる発展を促進することで、日本から、世界の医療発展を加速させていく。

また力覚フィードバック技術は幅広い応用が期待されることから、さらなる応用可能性を探索し、新たな分野への展開を推進する。

3. トピックス② 予防型ペット保険としてのブランド価値向上



データでどうぶつの健康を守る『家庭どうぶつ白書』

当社が2009年から毎年発行するペットの疫学データ集。最新版では、昨今飼育頭数が増加する猫種のデータ追加や、オーラルケアや介護など注目のトピックスも掲載。



*世界最大規模:世界のペット保険会社公表データから当社にて調査(2024年12月時点)

■『家庭どうぶつ白書』に込めた想い

データを集めることは、言葉を使えないどうぶつたちの声を聞くための手段でもあります。たとえ人間の言葉で会話ができなくても、情報をデータという形に「翻訳」することで、どうぶつを理解しその先の健康を守りたい。そんな想いで制作しています。

アニコム公式Instagramフォロワー10万人突破

2017年9月開設、2024年12月に10万人突破*。「どうぶつとの暮らしの楽しさ」を発信しつつ、ペット保険以外のアニコムグループの魅力・強味もアピールしている。 *日本のペット保険Instagramアカウントとして初(当社調べ)



■フォロワー数10万人突破に対するお客様の声

- 10万人突破おめでとうございます。保険証や健康割引、年に1回の腸内フローラ測定、バースデーカード…利用0回でもサービスが充実していて、ちゃんとメリットがあります。どの保険にしようかなと思ったら、絶対アニコムです。
- いつもアニコムの投稿を通して、他のどうぶつさんを見るのが楽しみです。
- 10万人突破おめでとうございます！「CARE PUREE」は、愛猫の大好物です。イベントで知ってから、今もオンラインで購入しています。

3. トピックス③ 資本政策・株主還元



自己株式の取得状況

■概要

- ・ 2023年5月25日、SMRの算出誤りに起因する約 40 億円を自己株式取得に充当する方針を決定
- ・ 2023年度は 10 億円を上限として、2023年9月21日までに自己株式の取得を完了
- ・ 2024年度は残額の 30 億円を上限として、2024年5月27日～2025年3月31日の期間で取得予定
- ・ **2024年12月末現在、約24億円を取得済**

■中期経営計画 資本政策方針



3

APPENDIX

1. 主要経営パラメータ

2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ (ペット保険新規契約獲得件数／保有契約件数の推移)

3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ (損害率(E/I)、既経過保険料ベース事業費率)





1. 主要経営パラメータ

	24年3月期 3Q	24年3月期末	25年3月期 3Q	対前年同期比		対前期末比		25年3月期末 (5月9日予想)
				件数	率	件数	率	
① 保有契約数	1,172,819 件	1,193,560 件	1,260,176 件	87,357 件	7.4%	66,616 件	5.6%	1,280,000 件
② 新規契約数	165,842件	223,289 件	178,908 件	13,066 件	7.9%	-	-	230,000 件
③ 継続率	88.2%	88.2 %	88.1 %	-	-	-	-	88.2 %
④ 保険金支払件数	3,317 千件	4,381 千件	3,468 千件	151 千件	4.5%	-	-	4,800 千件

	24年3月期 3Q	25年3月期 3Q	対前年同期比 増減	25年3月期末 (5月9日予想)
⑤E/I損害率	60.7 %	61.6 %	0.9 pt	60.9 %
⑥既経過保険料ベース事業費率	33.4 %	31.9 %	△1.5 pt	32.3 %
⑦コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)	94.1 %	93.5 %	△0.6 pt	93.2 %

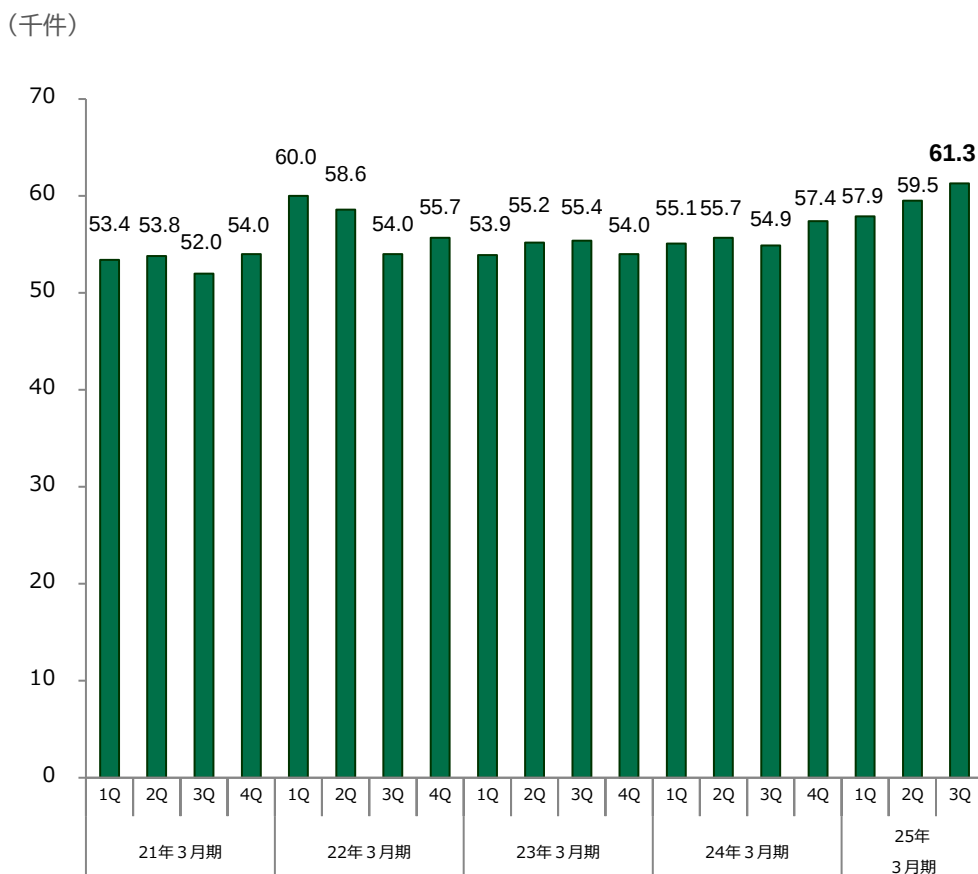
	24年3月期末	25年3月期 3Q	対前期末比 増減
⑧単体ソルベンシー・マージン比率	333.7 %	335.3 %	1.6 pt

	24年3月期 3Q	25年3月期 3Q	対前年同期比 増減
⑨どうぶつ健活(腸内細菌叢検査)申込数	162,985 件	177,241 件	8.7%
⑩対応動物病院数	6,851 病院	6,935 病院	1.2%
⑪遺伝子検査検体数	51,632 件	50,110 件	▲2.9 %

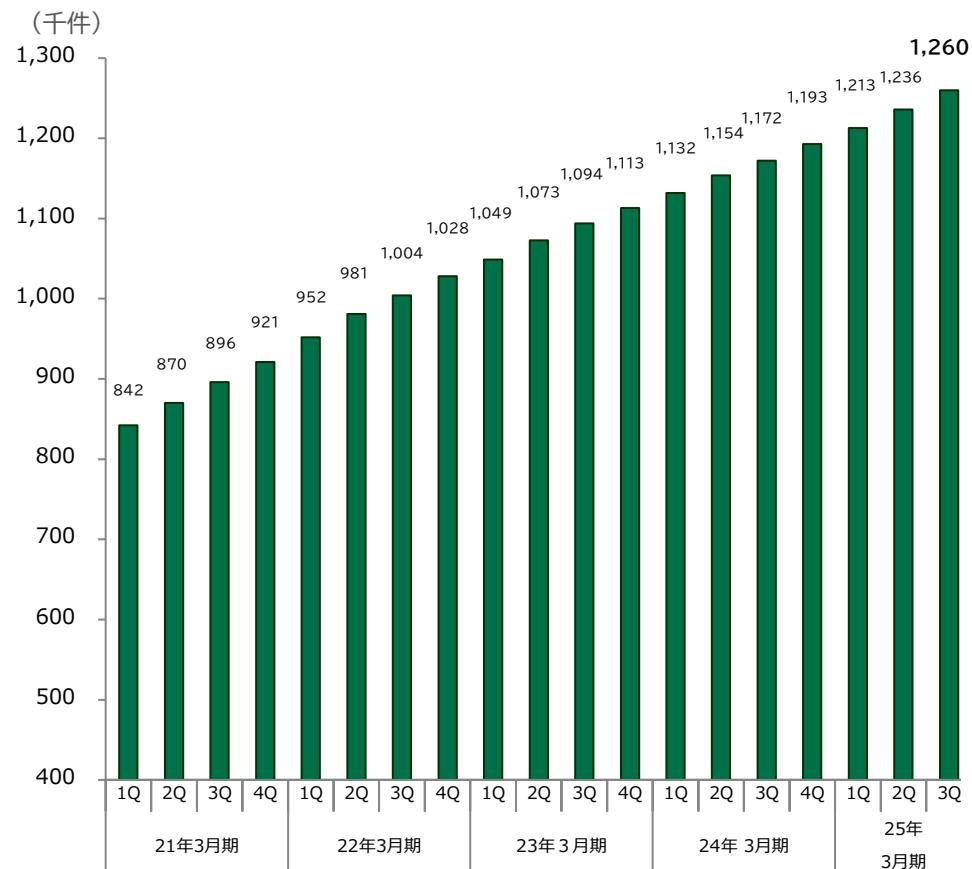
2. アニコム損保単体:経常収益のパラメータ



新規契約獲得件数の四半期推移



保有契約件数の四半期推移



3. アニコム損保単体:経常費用のパラメータ



【参考情報】

15年3月期 1Q

■ 保険料改定
・平均12%の改定

15年3月期 3Q

■ 限度日数付き新商品
■ 健康割増引制度導入

18年3月期 2Q

■ 保険料率改定
・8歳以上の保険料改定

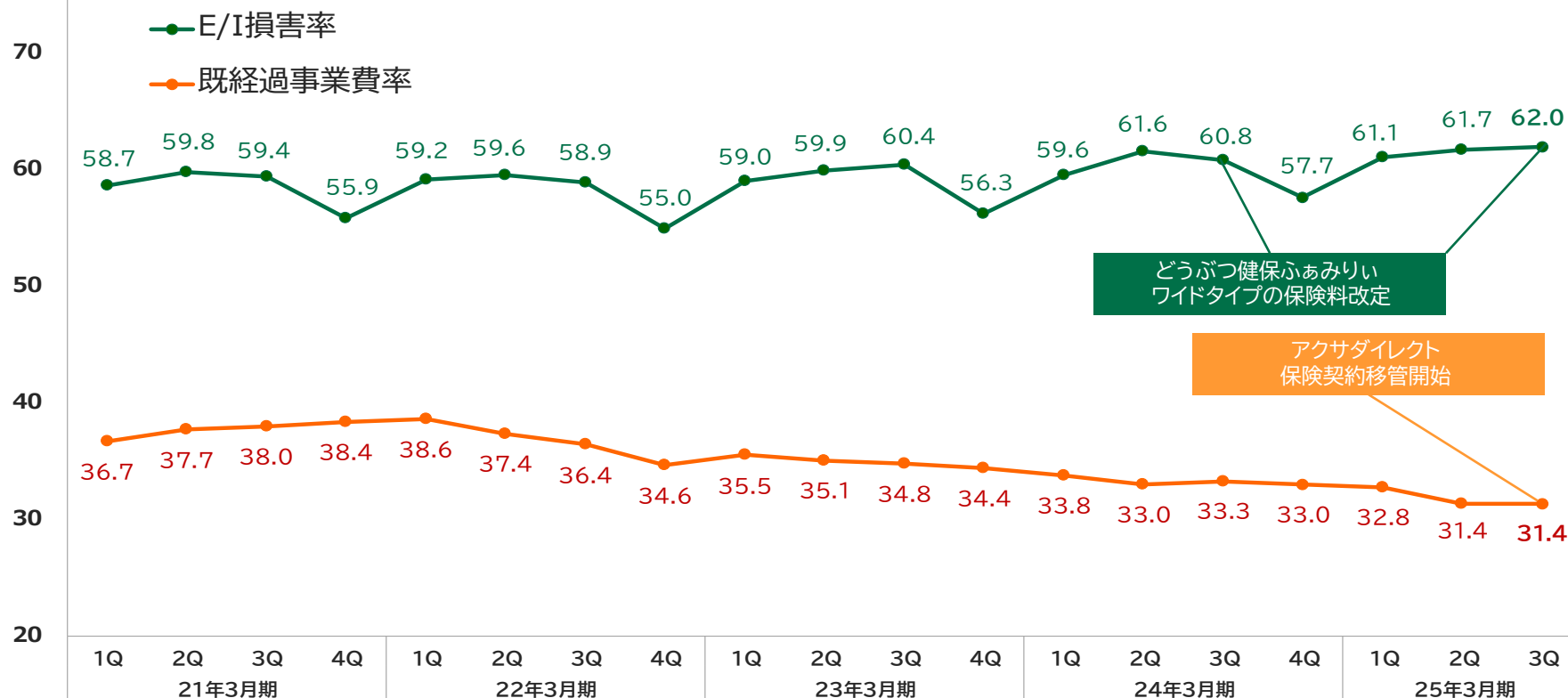
19年3月期 3Q

■ 「どうぶつ健活」の導入
■ 保険料改定
・保険料・品種クラスの改定

注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。

注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。

(%)

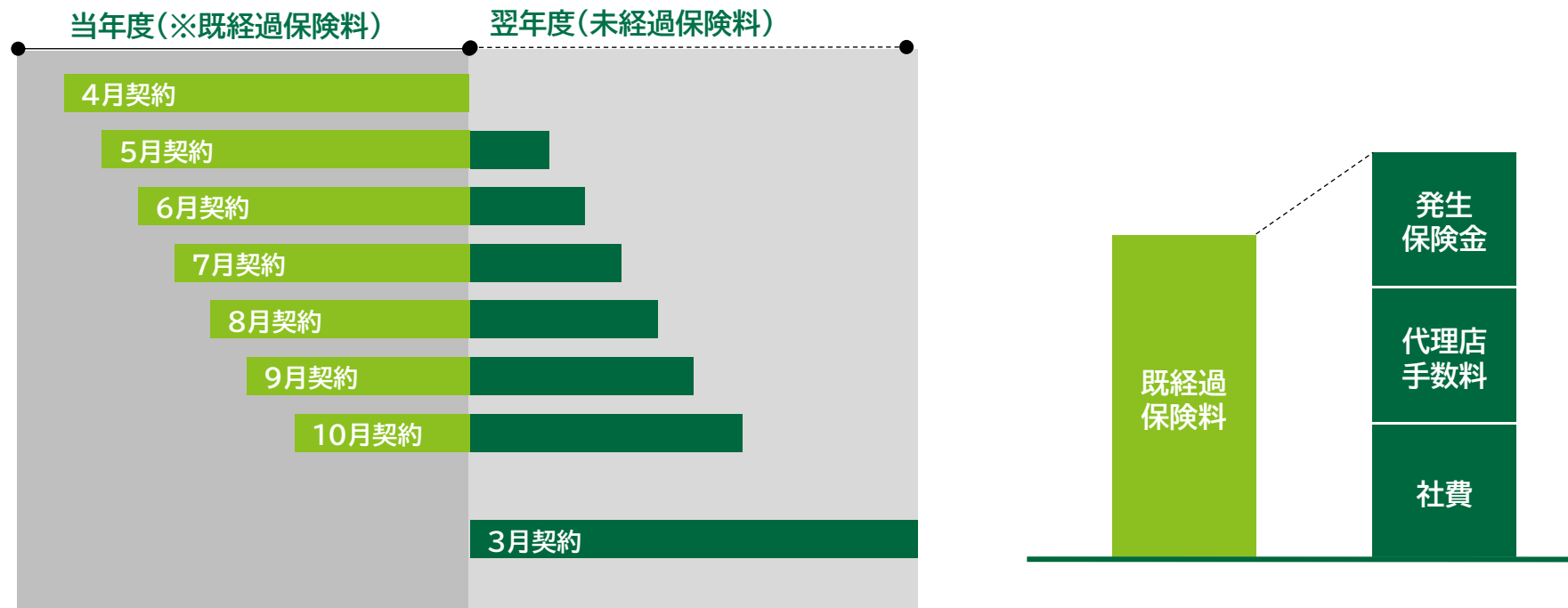




(参考) 保険会計が経常損益に与える影響

1. 保険料の増加が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

一般的に、保険料の増加は経常収益の増加に寄与しますが、事業年度における保険料の未経過期間部分については、普通責任準備金(未経過保険料)として次年度に繰り越すことが法令により定められています。一方で、発生保険金、代理店手数料、社費等の費用については、保険料の増加に対応する費用を含め、これらの費用が発生する年度において計上することとされています。したがって、保険料の増加に伴い増収となる場合であっても、当該費用が既経過保険料を超過する場合は、当該年度の経常損益にマイナスの影響を与えることとなります。



2. 異常危険準備金が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

・異常危険準備金は、巨大災害等が生じた場合の保険金の支払いに備えるために法令により積み立てておくこととされているものであり、各保険会社が毎期積み立てを行っているものです。

・異常危険準備金は、正味損害率(※)が50%を超えると取崩し(費用のマイナス)が行われます。(※)正味支払保険金を正味収入保険料で除した割合です。



お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部 (IR事務局)

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

www.anicom.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。

本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。